

平成 20 年度の事業報告書

平成 20 年 10 月 1 日から平成 21 年 9 月 30 日まで

特定非営利活動法人びわ湖トラスト

1. 事業の成果

法人としての組織基盤を確立するため、法人の活動内容について積極的な広報活動を行い、また具体的なびわ湖や水辺の調査を実施した。

2. 事業の実施に係る事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費の金額 (単位：千円)
調査研究を 支援する事 業	(1)自律型潜水ロボット「淡探」と実験調査船「はっけん号」の共同運用を支援し、びわ湖底泥診断プロジェクトを実施する。	(A)12月15日～19日 (B)びわ湖 (C)50人	びわ湖の恵み を受ける不特 定多数の人々	2,735
	(2)高島市安曇川地区の内湖及び周辺の自然環境の変化について、地元の人々と調査を行った	(A)12月～平成21年5月 (B)松ノ木内湖及び 上流の水田 (C)60人	びわ湖の恵み を受ける不特 定多数の人々	
	(3)びわ湖の湖底や水質など南湖と北湖の違いを子供達に観察してもらい、びわ湖の将来について考えてもらった	(A)8月17日 (B)大津市 (C)90人	びわ湖の恵み を受ける不特 定多数の人々	
情報交換に 関する事業	ホームページで、活動内容を紹介するとともに、びわ湖情報を迅速に公開する。	(A)随時 (B)高島市 (C)4人	びわ湖の恵み を受ける不特 定多数の人々	369
	びわ湖底調査報告(第1回)	(A)11月15日 (B)高島市 (C)40人	びわ湖の恵み を受ける不特 定多数の人々	
	自然観察会 今津	(A)11月15日 (B)高島市 (C)25人	びわ湖の恵み を受ける不特 定多数の人々	
	世界学生湖沼会議	(A)11月24日 (B)大津市 (C)2人	びわ湖の恵み を受ける不特 定多数の人々	
	びわ湖底調査報告(第2回) 松の木内湖調査報告会	(A)4月26日 (B)大津市 (C)60人	びわ湖の恵み を受ける不特 定多数の人々	

	風人の祭り	(A)5月17日 (B)高島市 (C)60人	びわ湖の恵み を受ける不特 定多数の人々	
	第2回びわ湖と地球の文化祭	(A)8月23日 (B)高島市 (C)約30人	びわ湖の恵み を受ける不特 定多数の人々 約286人	
	たかしま屋台村	(A)8月29日 (B)高島市 (C)約3人	びわ湖の恵み を受ける不特 定多数の人々	
環境教育に 関する事業	びわ湖湖底ゴミ引き上げ調査	(A)9月26日 (B)守山市湖岸 (C)約60人	びわ湖の恵み を受ける不特 定多数の人々	0
定款第5条 第1項第1 号の各事業 を支援する ための基金 事業	びわ湖環境あしなが基金として、募 金・寄付金を募り、特定非営利活動 に係る事業の運営に活用する。	(A)随時 (B)滋賀県内およびびわ 湖・淀川流域各地 (C)約60人	びわ湖の恵み を受ける不特 定多数の人々	274

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の予定人数	事業費の金額 (単位：千円)
物品販売等 に関わる 事業	びわ湖トラストのロゴマーク入り名 刺シートの製作・販売等	(A)随時 (B)高島市 (C)3人	0
研修に関わ る事業	湖底観察会	(A)12月19日 (B)びわ湖 (C)50人	77